

1. 北海道（地域別調査機関：株式会社北海道二十一世紀総合研究所）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (北海道)	◎	高級レストラン（スタッフ）	・夏休みやお盆を迎えて、帰省客を含めた観光客が増加すると見込まれることから、当店の観光客利用も増加することになる。
	○	一般小売店〔土産〕（経営者）	・雨の日が少ないなど、天候に恵まれたことから、外国人観光客を中心に、来客数が増加している。最近は外国人観光客の増加が目立っており、特に東南アジアなどからの旅行客は購買力が強いことから、今後の景気はやや良くなる。この先、アジアが世界を引っ張っていく時代が来るのではないかと考えるほどである。
	○	衣料品専門店（エリア担当）	・今年の夏は、全国的に気温が高めの予報が出ていることから、暑さをしのぐための冷感商品や節電グッズの需要が増えると見込まれる。
	○	家電量販店（経営者）	・エアコンを中心とした季節商材の売行きが好調なことから、今後の景気はやや良くなる。ただし、売上の増加幅は前年を下回るペースにとどまっている。
	○	自動車備品販売店（店長）	・洗車用品、車内用品、サービス部門の好調な動きが、今後も続くことになれば、景気はやや良くなる。ただし、物価高の動向によっては、状況が一変することも懸念される。
	○	高級レストラン（スタッフ）	・イベントの開催や新規大型店のオープンが予定されていることから、今後、人の動きが増えることを期待している。
	○	旅行代理店（従業員）	・今後については、夏の観光繁忙期を迎えて、国内及び海外からの観光客が増加すると期待している。ただし、SNS上で7月に日本で災害が起きるという情報が出回っていることで、国際線利用者の伸びが鈍化する傾向がみられていることが気掛かりである。
	○	旅行代理店（従業員）	・例年の傾向から、これから客の動きが活発になってくると期待している。実際、来客数が徐々に増えてきている。
	○	タクシー運転手	・気温が高くなると、タクシーの利用客が増えてくる傾向があるため、これから夏を迎えてタクシー1台当たりの売上が増えると期待している。乗務員も順調に採用できていることから、会社の売上も前年と比べて大幅に増加することを期待している。
	○	その他サービスの動向を把握できる者〔フェリー〕（従業員）	・宿泊施設から、既にキャンセル待ちが多くみられているとの情報があるため、今後、観光シーズンのピークに合わせて、輸送量が一層増えると見込まれる。
	□	商店街（代表者）	・今後については、農業従事者を始めとして、周辺自治体からの来街者が増加する時期となる。ただし、最近の来街者の動向から、大幅な売上アップまでは期待できない。
	□	一般小売店〔酒〕（経営者）	・最近の売上や取引先の状況から、景気が上向くような気配がうかがえない。こうした状況はしばらく続くことになる。
	□	百貨店（売場主任）	・先行き不透明感が強いこともあって、景気が好転するような材料に乏しい。
	□	スーパー（店長）	・米国の関税施策や中東紛争の影響により、先行きが不透明になっていることから、現在の景気が大きく変わることは考えにくい。
	□	スーパー（企画担当）	・客の購買行動に大きな変化はみられない。政府が検討している給付金も年末頃の支給になると見込まれるため、消費に回るのはしばらく先になる。今後については、米の価格動向、農作物の収穫状況次第の面がある。
	□	コンビニ（エリア担当）	・し好品を中心に客の買い控えがみられることで、来客数が前年を下回っている。値頃感を出していくことで、来客数の回復に取り組んでいるものの、現状大きな成果は出ていないことから、今後も横ばいでの推移となる。
	□	コンビニ（エリア担当）	・来客数が減少傾向で推移しているものの、長期予報によると、例年よりも気温が高くなると見込まれているため、飲料やアイスなどの夏物商材がよく売れるようになると期待している。
	□	コンビニ（エリア担当）	・備蓄米を始め、より安い商品を買求める客が多いことから、家計の厳しさがうかがえる。今後もこうした状況は続くことになる。

□	コンビニ（エリア担当）	・6月の動きがかなり良かったため、景気が今以上に上向くことは考えにくい。一方、今年も暑い夏が見込まれていることはプラスであり、景気が下向くことも考えにくい。
□	衣料品専門店（経営者）	・国の経済対策について、効果的な対策が行われるような様子もないため、今後も景気は変わらない。
□	家電量販店（店員）	・気温の上昇とともに、夏物商材と冷蔵庫の動きが良くなっている。一方、エアコンの販売台数は、前年を下回っている。これらのことから、今後の景気は横ばいで推移することになる。
□	乗用車販売店（経営者）	・これからモデルチェンジする車種が増えてくるため、今後も堅調に推移することになる。中古車も安定した販売状況が続くと見込まれる。
□	乗用車販売店（経営者）	・新型車が、2025年下期から2026年初頭までに随時発売される予定となっている。それまでの期間は、現行モデルの販売となるため、厳しい状況が見込まれる。
□	乗用車販売店（従業員）	・軽自動車を対象とした低金利キャンペーンが終了することもあるため、今後の販売量が伸びるとは言い切れない面があるものの、他の施策でカバーできると見込んでいる。ただし、夏休み期間を控え、客の金の使い先が変わってくことで、今より厳しくなることも懸念される。現状の景気は決して悪くないため、スタッフの頑張りによって現状を維持できると期待している。
□	乗用車販売店（従業員）	・新型車投入の予定はあるものの、台数制限があるため、今後の状況が大きく変化することはない。
□	乗用車販売店（従業員）	・メーカーにおける新車の生産台数は徐々に回復してきたものの、価格改定や新型車の発表がないことから、景気が良くなる要因が見当たらない。
□	住関連専門店（役員）	・様々な商品が値上がりしていることで、客の節約志向が根強く、今以上に景気が良くなるとは考えにくい。
□	その他専門店〔造花〕（店長）	・前年の傾向を踏まえると、季節の変わり目での商品入替えは余り期待できない。こうした動きも、物価高の影響が出ているためとみられる。
□	旅行代理店（従業員）	・今後については、猛暑が予想されていることに加え、参議院選挙の影響で法人の団体旅行の動きが止まるとみられることから、現状と同様の景気の良くない状況が続くことになる。
□	旅行代理店（従業員）	・例年であれば、翌年の上半期の旅行について、大型案件を中心に、数件の見積依頼が出てくる時期であるが、今のところ、そうした動きは余りみられない。そのため、今後の景気は変わらないまま推移する。
□	タクシー運転手	・イベント関係の予約状況が前年並みであること、観光客の問合せ状況に変化がみられないことから、今後も景気は変わらないまま推移する。
□	タクシー運転手	・今後も、地域イベントの開催予定があるものの、これまでの状況から、イベント開催による効果は余り期待できない。
□	住宅販売会社（経営者）	・物価高が続くなか、人件費の高騰や金利の上昇も続くとみられるため、今後も厳しい状況は変わらない。
□	住宅販売会社（従業員）	・地価の高騰、建築費の高止まり、住宅ローン金利の上昇の影響で、消費者の購入マインドが低下している。そのため、今後も景気は変わらない。
▲	商店街（代表者）	・今後の景気を上向かせるためには、消費税減税や現金給付のような、国民の手取りを増やすような政策が必要である。
▲	商店街（代表者）	・米国の経済に対する懸念がみられるようになってきていることから、世界各国にその影響が生じている。このような状態が続けば、景気はますます悪くなる。
▲	商店街（代表者）	・7月5日に地震が起こるという予言の影響で、外国人観光客が徐々に減少している。特に東南アジア圏での影響が大きく、7月には計りしれない影響が生じる懸念がある。また、参議院選挙を控えて、地元を離れることができない人が増えることも、観光には大打撃となる。

▲	一般小売店〔土産〕（経営者）	・夏の観光シーズンを迎えて、観光客が増えることを期待している。ただし、今年は大阪・関西万博の影響で、関西方面に出掛ける人が増えることが懸念される。海外に出掛ける人も若干増えると思われるため、良くて前年並みの来客数になると見込まれる。また、物価高が続いていることから、客単価の上昇は考えにくい。
▲	一般小売店（経営者）	・参議院選挙が予定されているため、景気が良くなるとは考えにくい。
▲	百貨店（販売促進担当）	・国内物価の上昇に加え、世界情勢の先行き不安感も強まっていることから、消費マインドが低下し始めている。来店客の様子や買上単価の動向からも、先行きに対する不安感が強まっていることがうかがえる。
▲	スーパー（店長）	・国の物価高対策がどうなるかはっきりとしていないため、しばらくは今の景気の悪い状態が続くことになる。
▲	スーパー（店長）	・国内情勢が不安定なため、今後の景気はやや悪くなる。
▲	スーパー（企画担当）	・一部の葉物野菜では、相場価格の低下がみられるものの、主食の米を中心に、価格高騰がなかなか収まらないことから、消費者の財布のひもは固いまである。買上点数も伸び悩んでいる。
▲	スーパー（役員）	・猛暑や雨不足の影響で、農作物の生育状況が悪いことから、価格が上昇し始めている。そのため、今後、客の節約志向に拍車がかかることが懸念される。
▲	乗用車販売店（従業員）	・米国の関税施策の先行きが不透明なことから、今後の景気はやや悪くなる。
▲	その他専門店〔ガソリンスタンド〕（経営者）	・中東情勢の影響で原油価格が高騰していることから、先行きは不透明である。
▲	高級レストラン（スタッフ）	・当店には余り来店しないが、外国人観光客の客単価が低下しているとの話を他業種から聞くが増えている。そのため、この先も円安傾向が続いたとしても、飲食店、特に高級店の来客数が減少傾向に転じる懸念がある。これまでは外国人観光客の消費額の大きさが、飲食店の経営面に好影響を与え、食材などの原価高をカバーしていたことから、外国人観光客が減少してくるになれば、厳しさが増すことになる。
▲	観光型ホテル（経営者）	・物価高、大阪・関西万博の開催、7月に起こるとされている地震の風評被害、参議院選挙など、今夏シーズンの北海道観光にとってのマイナス要素が多くあることから、今後の落ち込みが懸念される。
▲	観光型ホテル（スタッフ）	・物価高の影響で、日本人の宿泊需要が停滞気味なことから、今後の景気はやや悪くなる。
▲	旅行代理店（従業員）	・物価高が続いていることから、趣味に当たる旅行市場の縮小が懸念される。ホテルの需要も、インバウンドの動向によって変わってくるため、先行き不透明感は否めない。
▲	通信会社（企画担当）	・販売面において、本社による統制が強くなっていることから、施策の自由度が低下し、きめ細やかなケアができなくなっている。そのため、売上の維持が困難になりつつある。
▲	観光名所（従業員）	・当施設では、インバウンドが集客の主力となっており、そのなかでも台湾、香港は利用者の中核を占めている。一方、台湾や香港を中心に、来日を控える動きが強まっており、キャンセルも多く出ている。7月が過ぎたからといって、すぐに訪日することも考えにくい。ため、しばらくは様子見のような動きが続くと見込まれる。こうした動きが落ち着くまで、我慢の時期になると考えている。
▲	美容室（経営者）	・最近では、値上げが頻繁に行われていることもあって、客が今まで以上に支出に対して敏感になっている。そのため、今後の売上は、関連商材を中心に、厳しさが増すことになる。
▲	美容室（経営者）	・6月は好調であったが、その要因がよく分からない。そのため、このまま好調な売上が続くとは考えにくい。
▲	美容室（経営者）	・賃上げの動きも進んでいるが、今後の景気を上向かせるには、賃上げよりも減税が必要である。
×	スーパー（店長）	・あらゆる物の価格が上がっていることから、先行きが不透明になっている、安くなっている物は何もなく、国民負担率も高いことから、今後、金の使い方が渋くなることが懸念される。

	×	衣料品専門店（店長）	・必要な物は買うが、し好品やおしゃれに掛ける金は安く済ませたいと考える客が増えており、販売側の考え方とのかい離が大きくなってきている。そのため、今後、深刻な状況になると危機感を持っている。今年は商品を買わなくて良いと考えるようになれば、来年も買わなくなることが懸念される。
	×	タクシー運転手	・これまでの傾向から、選挙を控えると、夜の繁華街の人出が減少することになるため、今後の景気は悪くなる。
企業 動向 関連 (北海道)	◎	食料品製造業（従業員）	・6月よりも観光需要の高まる時期であるため、今後の景気は良くなる。
	○	食料品製造業（従業員）	・4月に価格改定した後も、販売量は減少することなく、前年を上回って推移している。また、通信販売を伸ばすべく、新たな販売促進を企画していることから、今後の販売量は増加することになる。
	○	家具製造業（経営者）	・米国の関税の影響が落ち着き、株価が上昇することで、景気が良くなることを期待している。
	○	金融業（従業員）	・米国とイランの関係が悪化しないことが前提であるが、輸入物価の低下が企業物価に波及し、消費者物価の上昇幅が抑制されることを期待している。そうならば、実質賃金のマイナス傾向も改善され、消費者マインドが上向くと期待できる。また、2025年産米が市場に出回ること、米の在庫価格が低下し、食品の価格上昇が抑制されることも期待している。ただし、米国の関税政策の動向は、今後に向けての懸念材料である。
	○	その他サービス業〔建設機械リース〕（営業担当）	・人手不足問題、米国の関税施策などの懸念事項はあるものの、国内の建設投資は、引き続き堅調に推移すると見込まれることから、今後の景気はやや良くなる。
	□	食料品製造業（従業員）	・今のところ、景気が良くなるような案件も、悪くなるような案件も見当たらないことから、今後も景気は変わらない。
	□	建設業（経営者）	・今後については、新規の受注が減少することになる。また、9月頃から、一部で人手不足が強まることが懸念される。一方、参議院選挙、米国の関税施策、中東情勢などの不確定要素が多いことから、先行きの判断には難しい面がある。
	□	建設業（従業員）	・現在の景気については、人材不足による影響が大きくなっている。ただし、人材不足の状況は、すぐ変わるものではないため、今後の景気が大きく変わることはない。
	□	建設業（役員）	・当面は、現場配置可能な技術職員のフル稼働が続き、年度前半にかけて、好調に推移することが見込まれる。一方、参議院選挙や中東情勢、米国の関税施策など、景気動向を左右するような要因も多く、これらの動向によっては、建設投資が落ち込むことも懸念される。
	□	輸送業（支店長）	・荷動きはまずまずだが、荷主との値上げ交渉や人材不足はすぐに解決する問題ではないことから、今後も同じような状況が続くことになる。
	□	広告代理店（従業員）	・地政学的リスクが高まっていることもあって、明るい未来を想像しにくくなっている。一方、日本と米国の金融政策をみると、日米の金利差が縮小し、住宅ローン金利が上昇することが懸念される。金利上昇によるリスクをカバーできるような、好景気になることは考えにくいいため、今後も景気は変わらない。
	□	司法書士	・不動産登記の受注量は横ばいで推移しているものの、物価の高騰が続いているため、景気が良くなるとはいえない状況にある。
	▲	通信業（営業担当）	・データセンターや半導体企業の誘致、DX、GXなど、北海道における将来の投資を誘発するような複数の動きがみられるものの、期待が先行している状況である。そのため、北海道経済をけん引するような状況とはなっておらず、一部の関連企業だけが恩恵を受けるにとどまっている。現状のインバウンド頼りの状況では、物価高を背景とした、節約意識の高まりや企業のコスト重視経営によるマイナスの影響が大きくなり、景況感を下押しすることになる。
	▲	その他サービス業〔ソフトウェア開発〕（経営者）	・米国の関税問題が出てきてから、周りの自動車関連のシステム開発を行っている会社で、案件を失注する動きが出始めている。

	▲	その他非製造業〔鋼材卸売〕（従業員）	・上期及び下期の市場予測をみると、当初は秋口から仕事量が増える見込みであったが、現在は年明けから工事が始まる予測となっており、徐々に遅れが生じている。大型案件の工事については、受注内容の精査も必要となるため、市場の動きはますます鈍化することが懸念される。
	×	農林水産業（経営者）	・6月とは思えないほど暑いことから、作物の生育状況に影響が生じることが懸念される。
	×	司法書士	・電気、ガソリン、食品などの価格が下がらない限り、景気が上向くことは考えにくい。一方、国の施策をみると、増税や社会保障費の増額など、自由に使える金が減るようなものが多い。景気を上向かせるためには、これまでとは方針を変えることが必要である。
雇用 関連 (北海道)	◎	—	—
	○	求人情報誌製作会社（編集者）	・世界情勢の不安定さが増しているなか、求人件数を増やす業界も少しずつみられるようになってきた。もう少し先行きが見通せるようになれば、景気が良くなると期待している。
	□	人材派遣会社（社員）	・今後も、求人数と求職登録者数は増加傾向で推移すると見込まれる。こうした動きがあるうちは、景気は停滞しないとみられる。
	□	求人情報誌製作会社（編集者）	・長期予報によると、今夏は猛暑になるとみられていることから、夏物商材の売行きには追い風となる。一方、米国の関税施策など、諸外国の動向による影響も依然として残っており、先行き不透明感が拭い切れないことがマイナスとなっている。
	□	職業安定所（職員）	・新規求人数は減少が続いているものの、特殊要因によるものであり、求人数の減少が景気の悪化に直結しているとはいえない状況にある。
	□	職業安定所（職員）	・当地の5月の新規求人数は前年比マイナス3.4%となり、2か月連続での減少となった。一方、月間有効求人数は26か月連続で前年を下回っている。産業や業種によってその度合いは異なっているものの、今後の物価上昇の状況によっては、経済活動、消費行動が先を見通せない状態となることが懸念される。
	□	職業安定所（職員）	・参議院選挙の結果次第ではあるが、今後、給付金の支給又は減税が行われるとみられることから、多少は景気を刺激することになる。ただし、景気を上向かせるほどの効果までは期待できない。
	□	職業安定所（職員）	・景気変動するような要素が見当たらない。
	□	学校〔大学〕（就職担当）	・企業の採用活動をみると、業種間で温度差がみられつつある。ただし、全体的な雇用環境は、今後も改善傾向で推移すると見込まれる。
	▲	求人情報誌製作会社（編集者）	・中東情勢の影響により、原油価格がますます高騰し、物価高に拍車がかかることが懸念される。そのため、今後の景気はやや悪くなる。
	×	*	*